

## 14. 泌尿器、生殖器の疾患（更年期障害を含む）

### 文献

山田春菜. 興味深い研究報告 機能性月経困難症に対する十七椎穴の治療効果. *中医臨床* 2011; 32(1): 118-122. 医中誌 Web ID: 2011240551

#### 1. 目的

十七椎穴の機能性月経困難症に対する有効性評価

#### 2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

#### 3. セッティング

浙江中医薬大学、浙江省、中国

#### 4. 参加者

浙江工業大学在学中の月経困難症の学生 30 名

#### 5. 介入

Arm 1: 鍼灸刺激群 15 名。ステンレス製ディスプレイ針 (0.25×40mm、華脾鍼灸針) を、十七椎穴 (EX-B7) に刺鍼。得氣を得た後、10 分に 1 度雀啄法を行い 30 分置鍼。月経 1 日目施鍼開始、1 日 1 回を連続 3 日、2 回の月経周期にわたって治療。

Arm 2: 対照群 15 名。治療を行わない。

#### 6. 主なアウトカム評価項目

痛みに対する Visual analogue scale (VAS)、中医学症候評価表スコア、McGill 疼痛問診表スコア (SF-MPQ)、COX 月経痛症状量表スコア、「中薬新薬治療月経痛の臨床研究指導原則にもとづいた効果判定基準」による判定。

#### 7. 主な結果

VAS より鍼灸刺激群は鎮痛効果を示した。中医学症候評価表より前後比較、群間比較ともに鍼灸刺激群で不快症状に効果を示した ( $P < 0.05$ )。COX 月経痛症状量表スコアより前後比較、群間比較ともに、鍼灸刺激群で症状持続時間および疼痛・不快症状の出現時間に効果を示した ( $P < 0.05$ )。McGill 疼痛問診表スコアは有意差がみられなかった。

#### 8. 結論

鍼灸治療は月経困難症に有効である。

#### 9. 鍼灸医学的言及

十七椎穴への刺鍼が下焦、洋服部の集中した気血を通し、温経散寒・活血化癥・理気止痛する。また第五腰神経後枝の刺激により仙骨部の器官・組織の痙攣状態が改善され疼痛が緩和。

#### 10. 論文中の安全性評価

記載なし。

#### 11. Abstractor のコメント

本研究は機能性月経困難症に対して経穴(十七椎穴)の単独使用による有効性を示した研究として価値あるものである。この結果はある疾患、ある病態に対して特定の経穴が有効性を示す、いわゆる特効穴の存在を論じる上で貴重な文献となり得る。しかしながら、いくつかの問題点が挙げられる。まず一つ目にランダム割り付けの方法に関して記載されておらず、割り付けが適切に行われたかが不明であること。二つ目に、評価項目が複数設けられており、主要評価項目、副次的評価項目の分類がなされていないこと。三つ目に、鍼灸治療と無治療との比較であるにもかかわらず、プラセボ効果の影響が考慮されていないこと。等があげられる。今後、以上の問題点を改善し、いわゆる特効穴の存在を明らかにする研究報告が行われることを期待する。

#### 12. Abstractor and date

保坂政嘉、大川祐世 2016.9.23